

システム変更等のお知らせ

(2021.2.27 - 2021.4.28 変更)

1. ハードウェア

- 1.1 Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステム … なし
- 1.2 Oakforest-PACS スーパーコンピュータシステム … なし
- 1.3 Reedbush スーパーコンピュータシステム (Reedbush-H/L) … なし

2. ソフトウェア

2.1 Red Hat Enterprise Linux 7, CentOS 7 (Oakbridge-CX)

Arm DDT	20.2.1	(2021.03.31)
---------	--------	--------------

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.2 RedHat Enterprise Linux 7, CentOS 7 (Oakforest-PACS)

Arm DDT	20.2.1	(2021.03.31)
---------	--------	--------------

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.3 RedHat Enterprise Linux 7 (Reedbush-H/L)

Lustre ファイルシステム	(2021.04.23)
-----------------	--------------

Lustre ファイルシステムのバージョンアップを実施しました。

3. その他

3.1 Oakbridge-CX における Anaconda 社がサービス提供するリポジトリの利用規約改定に伴う作業

- ログインノード、計算ノード
 - Environment-Modules から Anaconda を削除し利用できないように設定
 - miniconda をインストールし、Environment-Modules を使用して利用できるように設定
 - 利用支援 Web ノード
 - 利用手引書「1.3. ソフトウェア構成」を修正
- 利用可能なソフトウェア一覧から Anaconda を削除し、以下の注意事項を記載。
Anaconda 社がサービス提供するリポジトリの利用規約が改定され、anaconda の商用利用は有償になりました。
ただし、教育機関の学生または職員による教育活動での利用、非営利の研究機関による非商業的活動での利用等は継続して無償利用可能です。
詳細については以下をご参照ください。
<https://www.anaconda.com/terms-of-service>
可能であれば無償版である miniconda + conda forge の利用を推奨します。

3.2 Wisteria/BDEC-01 スーパーコンピュータシステムの運用開始について

Wisteria/BDEC-01 スーパーコンピュータシステムは2021年5月14日から試験運用を開始し、8月2日より正式運用を開始いたします。試験運用に関する情報は当センターWeb ページ(https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/supercomputer/wisteria/service/wisteria_test.php)をご覧ください。

3.3 Reedbush-H/L サービス終了について

Reedbush-H/L スーパーコンピュータシステムは2021年11月末をもってシステムを停止し、すべてのサービスを終了致します。詳細について決まり次第 Web ページ、メール、スーパーコンピューティングニュースにて順次ご連絡致します。

Reedbush-H/L サービス終了にあたっては以下の点にご注意ください。

- サービス終了後のスーパーコンピュータのご利用につきましては Wisteria/BDEC-01、Oakbridge-CX をご検討ください。
- 一般利用にて Reedbush-H/L をご利用の方は「トークン移行」を行うことが可能です。Wisteria/BDEC-01、Oakbridge-CX への移行をご検討の利用者様につきましては「トークン移行」も併せてご参考ください。「トークン移行」についての詳細は Web ページ(https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/guide/application/transfer_token.php)をご参照ください。